

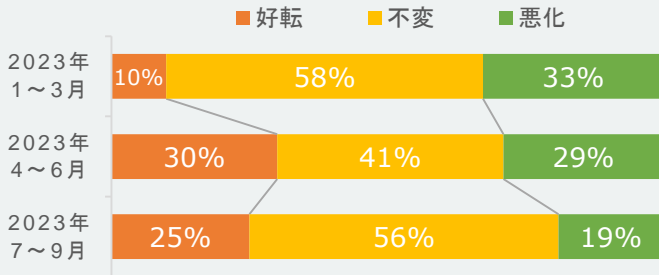
川崎商工会議所 中小企業景況調査 2023年4～6月期 調査結果

●調査対象 川崎商工会議所会員 80 事業所 ●調査時期 2023年 5月 23 日～ 6月 1 日

1 業況について

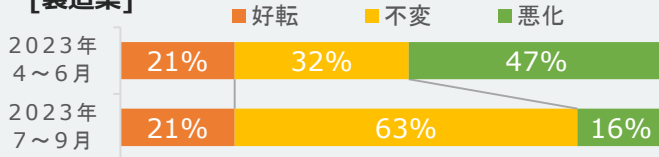
◆今期（4～6月）は好転が増加したものの、約3割が依然悪化と回答している。特に製造業では、悪化が約5割となっており、需要の停滞、原材料の価格上昇が大きく影響していると伺える。

◆来期（7～9月）の予測は、全体としては悪化が減少している。一方で小売業においては好転が減少、悪化が増加しており、物価上昇による需要の停滞が懸念されている。

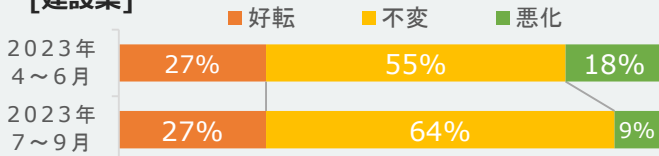


■業種別

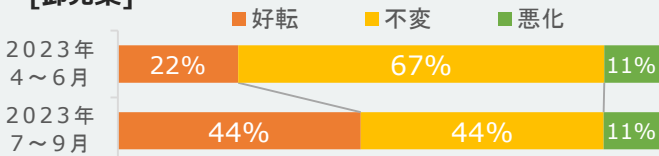
【製造業】



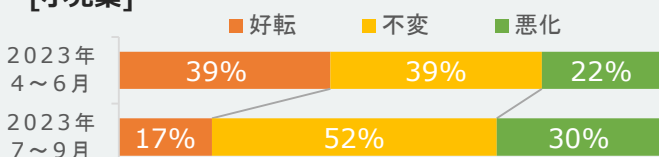
【建設業】



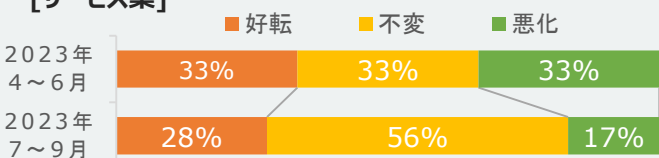
【卸売業】



【小売業】



【サービス業】



2 設備投資について

【今期（2023年4月～6月）】

実施した：14% 実施していない：86%

＜実施内容＞

車両・運搬具	建物	設備	付帯施設	OA機器
36%	18%	18%	18%	9%

【来期（2023年7月～9月）】

計画している：15% 計画していない：85%

＜計画内容＞

建物	車両・運搬具	OA機器	設備	付帯施設	その他
25%	19%	19%	13%	13%	13%

3 経営上の問題点 [複数回答]

◆原材料価格（仕入単価）の上昇が全ての業種において課題となっている。

◆様々な価格上昇が、需要の停滞にも結びついていると推測される。

【製造業】

1位	需要の停滞	63%
2位	原材料価格の上昇	58%
3位	製品（加工）単価の低下・上昇難	32%

【建設業】

1位	材料価格の上昇	73%
2位	・材料費・人件費以外の経費の増加 ・請負単価の低下・上昇難 ・従業員の確保難 ・熟練技術者の確保難	27%

【卸売業】

1位	仕入単価の上昇	56%
2位	・人件費以外の経費の増加 ・販売単価の低下・上昇難	22%

【小売業】

1位	仕入単価の上昇	57%
2位	需要の停滞	43%
3位	消費者ニーズの変化への対応	30%

【サービス業】

1位	材料等仕入単価の上昇	44%
2位	人件費の増加	39%
3位	・人件費以外の経費の増加 ・従業員の確保難	33%